

福岡都市圏南部環境事業組合建設検討委員会

第 1 2 回建設専門部会 会議概要

1 .開催日時	平成 2 1 年 3 月 1 8 日 (水) 1 6 : 3 0 ~ 1 7 : 4 5
2 .開催場所	福岡市役所 1 5 階 1 5 0 3 会議室
3 .出席者	(正副部会長以外は五十音順) 松藤康司部会長、神野健二副部会長、嵐谷奎一委員、磯望委員、浦邊真郎委員 村山博俊委員
	オブザーバー 福岡市 計画課係長、他 1 名 春日市 環境課係長 太宰府市 環境課長 那珂川町 環境防災課長
4 .欠席者	包清博之委員、川本俊弘委員
5 .議 題	議題 1 スケジュールについて 議題 2 中間処理施設基本計画について 議題 3 中間処理施設生活環境影響調査について

議題 1 スケジュールについて
【協議内容】 今後のスケジュールとして、次の通り了承した。 平成 2 1 年 5 月初旬及び 6 月に専門部会を開催し、中間処理施設基本計画に関する検討を行う。

議題 2 中間処理施設基本計画について
【協議内容】 ・地質調査結果の報告 事務局より地質調査結果(建設候補地敷地内 8 カ所調査実施)について報告を受けた。 1 .地盤の状況について(N 値 5 0 を確認後、5 m 掘り下げて確認) ●工場建設地点は、真砂土層(N 値 1 0 ~ 4 0)が約 8 m 存在し、以降は強固な風化花崗岩層(N 値 5 0)が連続している。 ●調整池付近は、軟弱な地層(堆積層)が 3 m 程存在し、その後強固な風化花崗岩層(N 値 5 0)が連続している。

2. 地下水の状況について

- 水位調査結果より、南側搬入道路入口付近から東側の調整池に向かって地下水が流れている。
- 地下水観測孔用の水量は40～60リットル/分である。

3. その他

下記の事項については、今後の専門部会にて検討を行うこととした。

- 基礎の考え方や地下水が構造物にあたえる影響について

・ 中間処理施設配置計画

下記の事項については、今後の専門部会にて検討を行うこととした。

- 施設規模の決定後、今回示された施設配置計画と施設配置パターンにおける評価表を参考に建設候補地周辺の写真や模型を活用しながら詳細について検討を行う。
- 四季の風向等や施設の利便性、周辺地域への影響についても、基本計画の検討に加える。

・ 視察結果報告

- 福岡都市圏南部地区での最適な環境学習施設をつくるために、基本計画策定の参考とすることを目的として、他の自治体の啓発施設やコミュニティー施設の視察を行った。
- 視察結果は今後の住民の意見も踏まえながら、中間処理施設基本計画に反映させていく。

議題3 生活環境影響調査について

【協議内容】

・ 前回(第11回)専門部会の決定事項の確認を行った。

・ 前回(第11回)専門部会の継続審議事項について、下記の事項を決定した。

1. 現福岡市南部工場と新南部工場の同時稼働時の予測の必要性について

- 同時稼働時の条件は、新南部工場の試運転時期等が想定される。
この時期の両工場の合算処理能力は1日600tを超えることはないため、新南部工場の最大処理能力600tで予測評価を行うものとする。

2. 予測の対象となる廃棄物について

- 予測の対象とする廃棄物は、通年発生する種類毎に分けた残渣物等を対象としている。
定期修理時に発生する残渣物は、設備によって部品毎の更新時期や間隔及び発生量が様々であるため、今回の予測の対象とはしない。

3. 煙突からの排ガス中の悪臭測定と工場周辺の現況との関連性の把握について

- 敷地境界での測定以外に風向きと時期で影響が予測される場所での測定を行う。
- 煙突からの悪臭は、南部工場の測定データを活用し現況調査結果と比較して関連性を調べる。

4. 動植物の保全対策について

- 動植物の調査結果から、地域を特徴付ける様な種や地元に愛されている種などが発見された場合は、適切な保全対策を行う。

5 . 温室効果ガス等による環境影響の回避・低減策について

- 評価の項目のうち、温室効果ガス等の環境影響の回避・低減に以下の指針を加える。

ごみ焼却時の熱エネルギーを効率よく回収し、高効率発電を行うことで工場が温室効果ガス発生抑制に寄与したか、ライフサイクルCO₂の観点から評価を行う。

・ 騒音振動調査について

下記のことについて、調査の報告を受けた。

- 工場停止時における、建設候補地周辺の敷地境界や道路沿道及び住宅地内の騒音・振動調査の結果。